新しい時代を生きる ～同友会型企業をめざして～ その198

企業理念の一番は社員の幸せ
やる気を引き出し、やりがいを感じる会社に！

シバセ工業株式会社
代表取締役社長　磯田　拓也氏（倉敷支部）

シバセ工業は芝勢家が一九二六年に精米・素麺業で創業した会社です（四九年に法人化）。二代目の社長は、将来性に不安を感じ、六九年に、当時当地で盛んであったストロー製造に業態を変えました。ストローはもともとは麦の茎を使用していました。日本のストロー生産は岡山県南西部の寄島が発祥ですが、原料である麦わらの品質が安定しないことから、六〇年ごろからプラスチックに切り替わりました。

七五年からグリコ乳業との取引が始まり、高収益で推移する状態になります。子どものいない二代目社長から後継者として親戚の磯田社長が声を掛けられたのは九五年。仕事の引き継ぎで三年待っても らい、シバセ工業に来たのは九八年のことでした。しかし、この頃からグリコ乳業が他社の二段式ストローに切り替えた為、仕事が急減して危機的状況に陥ってきました。

三代目となった磯田社長が最初に行ったのが営業マンの採用です。ずっと下請けできたシバセ工業には営業担当者はいませんでした。またHPを他社に先駆けて開設。磯田社長はストローを「薄い筒状のもの」ととらえ、飲料用以外のニーズがあるはずと考えていましたが、どのような用途があるのかはわかりませんでした。しかしHPを設けると、様々な業種から問い合わせが来るようになりました。今では精密機械部品、医療用などの注文が増え、今後もこれらの分野を育成していきたいと考えています。

また、コンピュータによる自動検査装置を開発し、新しい事業として検査装置部門を立ち上げました。検査データが全て自動判定され記録されるため、特に海外の生産ラインでの検査の信頼性に貢献して高い評価を得ています。また、この計測技術は自社設備の改善にも活かされ、製造中のストローの径を自動測定する装置を開発しました。製造中の径をグラフでリニアに表示することができ、これまでより早く異常に気付くことができます。今後は、自社用に開発した設備も製品化して販売を広げていきます。

ストロー事業の方では二〇一〇年にダイヤストロー本店と一緒になり両社のストロー部門を『DAIYA STRAW』というブランド名で統一しました。二百種類以上の標準ストローを常時在庫して、当日出荷の体制を作っています。また、タピオカやヨーグルトやゼリーなど、新しい食材も増えて、それぞれの食材に最適なストローを提供するため、多種多様なサイズや色を取りそろえています。様々な口径を作るための設備も自分たちで工夫して改造しました。昨年十月には、関東に営業所を開設して営業の体制も整ってきました。今後も小ロット多品種生産を続けながら、飲料用だけでなく工業製品向けのストローにも積極的に取り組んで技術力の向上を図ります。

同友会への入会は、経営革新計画を取る際に協力してもらったコンサルタントの方からの紹介がきっかけでした。倉敷の例会に参加して入会することを決め、成文化研修にもすぐ参加しました。例会ではただ話を聞くだけでなく、討論形式で自分たちの意見が言えて議論できることに魅力を感じました。

今後の目標は最盛期の売上高を超え、利益の出る体制を作ることです。経営理念もみんなで何度も議論を重ねて作成しました。理念の一番は社員の幸せです。社員のやる気を引き出し、やりがいを感じる会社にすることが最大のテーマです。そのため、ストローの事業は、ほとんどを社員だけで運営できるようにしています。社員は任せられて自ら動くことでやりがいを感じ成長につながると同時に、磯田社長は新しい成長の種を生み出すことに力を注ぎ、更なる成長を目指します。

（垣本経営コンサルタント事務所　垣本　輪）

プロフィール

社　名	シバセ工業㈱
会　員	磯田　拓也
所在地	浅口市鴨方町六条院中3037
電　話	0865-44-2215
FAX	0865-44-2640
設　立	1949年
事業内容	飲料用ストロー及び工業用ストローの製造。次の柱としてモーター検査装置の電子事業。
会　歴	2011年入会

第二回理事会報告
於2013／5／28　同友会会議室

有松修一副代表理事が議長に就任し議案を審議した。

一、確認事項

（1）理事の役割の確認

議案書に記載の「同友会理事（役員）選考の基準及びめやす」から「理事就任後のあり方」を読み上げ、内容の確認を行った。

二、協議事項

（1）正副代表理事の担当と、各会内組織の副代表者の選出について

正副代表理事会から提案された、各支部・委員会・部会の担当正副代表理事について協議し、全員異議なく承認した。支部等各組織からは、理事の代理出席予定者を次回理事会までに選出していただくよう要請した。

（2）新年度中同協幹事

藤田賢治氏・土井章弘氏・藤井孝章氏の三人を幹事、うち藤田氏を常任幹事として、中同協総会に提案する。

（3）第二十九回定時総会（経営者フォーラム）について

藤井孝章実行委員長が結果報告。参加目標二百二十人に対し実績百三十一人（達成率60％）。行政・銀行等も含めた当日参加は百六十二人。また二十七日に実施した総括会議の議事録に基き、反省点を報告。参加者全員で当日の感想を述べ合った。「実行委員会内で分科会全体のとりまとめ役が必要」「当日欠席が多いのは外部報告者に対して失礼」「次回は組織づくりや障害者関係の分科会も欲しい」「懇親会では来賓担当者が必要」―など。また決算案が提案され承認となった。

（4）新会員承認について

片岡健夫組織委員長より報告。入会者二人で承認。また二〇一二年以降の入会者に対し、各支部でフォロー担当者を決めていただくよう要請。

三、報告事項

（1）安本直一事務局長より五月活動報告と四月決算報告が行われ承認となった。仕訳処理方法の見直しを総務会の協力を得て行う。（2）第二十回中同協役員研修会（島根）の参加報告。

四、連絡事項

近日開催の全国大会・交流会等の告知と参加要請。

五、「より魅力ある同友会」にするための討議

藤田賢治代表理事が新年度重点方針の説明を兼ねた問題提起を行い、「重点方針に対し、自分はどこにどのように関わり、どう実現するか？」を討議の柱としてグループ討議を行った。主な意見は次の通り。「他団体のことも知る必要があるが、その前提として同友会の核心部分をしっかり理解しておくことが必要。新会員との関わりの強化も重要」「今期に入り、同友会大学や企業連携など変化の兆しがある。理事は個々の役割に分散するのではなく全体を見ることが必要」「若手にもっと関わる仕組みが必要」「人間性・社会性ばかりを強調しすぎて科学性の裏づけを欠いていないか。自分たちが楽しまなければ会は活性化しない。会員一人ひとりがもっと情報発信を」―など。

最後に松尾正男氏が「会勢を上昇に転じさせるのは理事の責任。真剣に議論して戦略をもって組みましょう」と総括した。

次回開催
六月二十五日（火）午後六時半～、同友会会議室

上質で安価これがワシントン流
株式会社ワシントン
〒701-0151 岡山市北区平野1095
TEL(086)903-1112 FAX(086)903-1113
URL▶ http://www.washington.gr.jp/
mail▶ info@washington.gr.jp
hair make Washington
沖縄エリア　那覇長田店　浦添伊祖店　那覇大道店
福山エリア　東町店　南蔵王店
倉敷エリア　茶屋町店　浜ノ茶屋店　中庄店
岡山westエリア　岡南店　庭瀬店　玉野店　奥田店　福富店
岡山eastエリア　西大寺店　東岡山店　山陽町店　原尾島店　和気店
西播westエリア　赤穂店　相生店　備前店　上郡店　山崎店　新宮店
西播eastエリア　太子店　網干店　龍野店
姫路エリア　夢前台店　御着店　京口店　広畑店　岩端店　御立店　飾磨店　香寺店
加古川southエリア　高砂店　室殿店　西宝殿店　東加古川店　尾上店
加古川northエリア　小野店　福崎店　加西店

SANKO presents
LOG＊NOTE ろぐ＊のーと
日記や写真を手軽に残そう！
シンプルなデザインで2種類！
LOG＊NOTEの使い方はあなた次第
お客様へのプレゼントにも最適！
SANKO サンコー印刷株式会社
Aiming for the future together with
〒719-1134 岡山県総社市真壁871-2
詳しくは弊社までお気軽にご連絡ください。
TEL 0866-93-2121 FAX 0866-93-9601

VEGETABLE OIL INK　新聞COMは地球にやさしい再生紙・ベジタブルインキを使用しています。